



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第5号
平成31年3月15日

「学校の勉強は、本当に役に立つの？」

教頭 石崎 隆

社会人になる24名の3年生の皆さん、4月からは社会人ですね。進級する在校生の皆さん、4月になると社会人に一歩ずつ近づきますね。1年間のまとめに当たり、皆さんにお伝えしたいことを書きます。

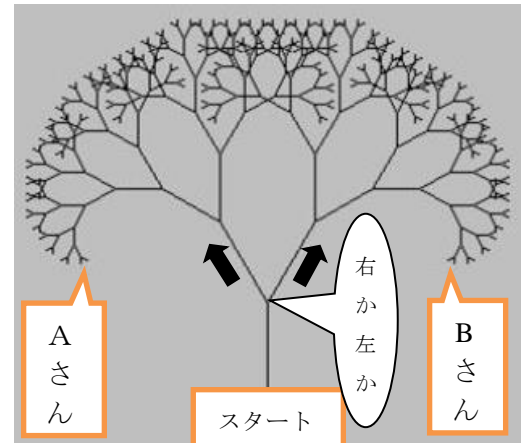
さて、皆さんの中には「学校の勉強はつまらない。勉強しても社会人になって役に立つわけではない。」と考えている人はいませんか。私も高校生の時に同じように考えていました。でも、そんな私の考えを変えてくれた出来事をこれから話します。

高校の数学の授業でした。数学の先生は少し変わった方で、先生自ら「数学のテストで100点をとっても社会でそんなに役に立たない。」とおっしゃっていました。皆さんは変な先生だと思いませんか。その後、こんな説明をされました。

「数学や世の中の勉強は、テストのためだけに勉強しているではありません。自分が抱いた悩み事を、自分で解決する考え方を学んでいるのです。これが、勉強する(学ぶ)本当の理由です。」と。

私は、この時からテストのための勉強ではなく、今勉強したことが自分の生活の何かのヒントにならないかと考え始めました。そして、少し勉強が好きになりました。皆さんは、そう感じませんか。

その先生は最後に、授業で学んだ「二分岐樹形図(以下：樹木曲線)」を示しながら、こう話されました。



<樹木曲線>

この樹木曲線は、分かれ道で「右に行くか・左に行くか」を8回選んでいます。スタート地点から一緒に歩き始めたAさんとBさんは、わずか8回違うことを選んだだけで、全く違う所に行ってしまうことが分かります。

皆さんの悩みを解決するために、大きな決断をする必要はありません。毎日のほんの小さなことを正しく選ぶだけでいいのです。そして、その選んだ結果の自分にしかありません。自分の人生は、自分で決めるしかないのです。例えば、

- ・歩き始める時に、「右足を出す?」「左足を出す?」
- ・うがいや手洗いを「する?」「しない?」
- ・友達(職場の人)に、元気に「あいさつする?」「あいさつしない?」
- ・失敗したら、正直に「謝る?」「謝らない?」
- ・友達の悪口を「言う?」「言わない?」など。

ほんの小さなことを選ぶ(行動する)ことが、生き方を作っているのです。

川西高等特別支援学校の生徒の皆さんは、若いです。無限に選ぶチャンスが待っています。1分1秒ごとにどちらを選ぶか考えてほしいです。そして、限りある自分の時間を楽しく夢のある方向に導いてください。皆さんが、これからますます元気で幸せな大人になることを心より願っています。

3年間を振り返って

3学年主任 齊藤英徳

第1回川西高等特別支援学校卒業生24名は、4月からは、社会人として新たなスタートを切ります。卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。当校の学校教育目標は、「夢をえがき、一步一步前進する生徒」ですが、卒業生が一步一步前進してきた軌跡を振り返りたいと思います。

私たち職員は、3年間をとおして、「コミュニケーション力の育成（職場での協働）」と「働く基盤づくり（なぜ働くのかを問う）」「適切な目標設定と丁寧な振り返り（PDCAサイクルの実践）」を重視して指導・支援をしてきました。

1年生前期の校内実習では、後期で初めてとなる現場実習を想定した取組を行いました。生徒は、担当者（学級担任）に仕事の区切りで報告する練習を繰り返し、自分の仕事量を記録することで見通しをもつことができました。気温の高い中、3週間粘り強く取り組むことで、あいさつや職場に必要な会話をする力が定着し自信を付けることができました。そして、「職業技能」の時間においても、仲間同士で報告・連絡・相談をする姿が見られるようになり、多くの経験をとおして、協働することの意義や必要性を実感したのではないのでしょうか。

また、「職業生活」の時間の中では、働く意義について、生徒や職員と考えたり、発表したりする学習を継続的に行ってきました。最初は、学級担任より「なぜ働くの？」と問われると、「お金を稼ぐため」「欲しいものを買うため」と答える生徒が多くいました。しかし、様々な経験を積むことで「人の役に立ちたい」「仕事が楽しい」と考え方を広げた生徒が増え、そこから、日常生活全般で意欲的に取り組む姿につながっていきました。

3年生の修学旅行では、日本理化学工業(株)様を訪問し、社長様から働く意義について話を聞きました。社長様とやり取りをする場面では、個々の今の思いを伝え、社長様から学んだことを日々の授業に生かすとともに、様々な体験活動をとおして「働くための基盤」を身に付けることができました。

現場実習の事前事後学習では、学級担任や巡回職員と丁寧な面談で「P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）」を繰り返し、自己の「良さ」と解決できそうな「課題」を明確にして仕事に臨むようにしました。生徒一人一人の不安を解消することで、実習先で働き続けることができました。また、「職業技能」の前後には、目標立てや振り返りをし、担任や担当職員と一緒に自分自身を見つめ直す時間を大切にしました。生徒は、「できるようになったこと」「もう少し努力したらできるだろう」が分かり、3年生の自己に対する理解が深まったのではないかと思います。

私は、働く力について、「自分の居場所や役割がある中で、働くことで人の役に立ちたいと思う」「日々の生活の中で楽しみや喜びがあること」だと考えます。

卒業生の皆さんの今後のご活躍をお祈りいたします。



【修学旅行：日本理化学工業(株)様訪問】

後期学校評価の結果報告

2月初旬に、保護者の皆様からご提出いただいた後期の学校評価アンケートは、提出率が96%と高く、前期同様、保護者の皆様の学校に対する関心や期待の高さがうかがえました。アンケートへのご協力ありがとうございました。以下、アンケート結果といただいたご意見等を紹介します。すべての評価項目において、「そう思う」の最も肯定的な評価の割合が前期よりも高くなりました。来年度も生徒一人一人の教育的ニーズに応じた質の高い教育活動を展開し、生徒、保護者、地域の皆様の期待に応えられますよう、教職員一同、一層努力して参ります。

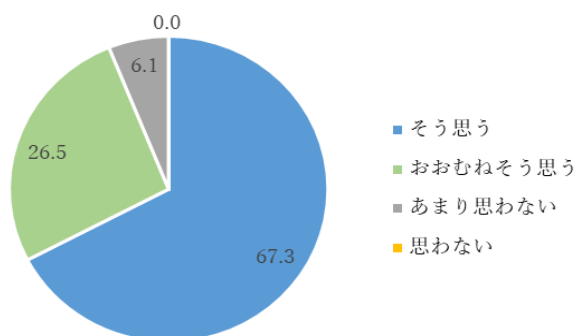
(1) 教育課程

学校は、地域社会での体験的・実践的な学習や生徒の将来に必要な力を身に付けるための学習を実施し、また、その充実を図っていると感じますか。

【主なご意見】

- ・現場実習におけるサポートをしていただいて、子どもが自信をもてた。
- ・校外学習や買い物練習なども取り組んでいただき、マナーが身に付いたと思います。

(1) 教育課程



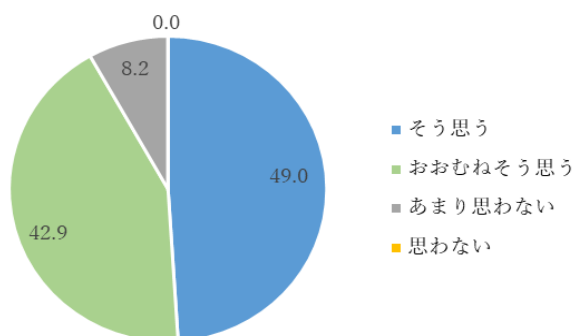
(2) 学習指導

生徒は、授業をとおして、将来の夢や目標をもって取り組もうとする意欲を高め、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付け、態度が育っていると感じますか。

【主なご意見】

- ・自分の子どもは毎日元気良く学校へ行き、様々な事を学んで日々より良くなろうと努力している言葉が、家庭では出ています。
- ・面談の練習や挨拶などの練習なども苦手なので、とても助かります。

(2) 学習指導



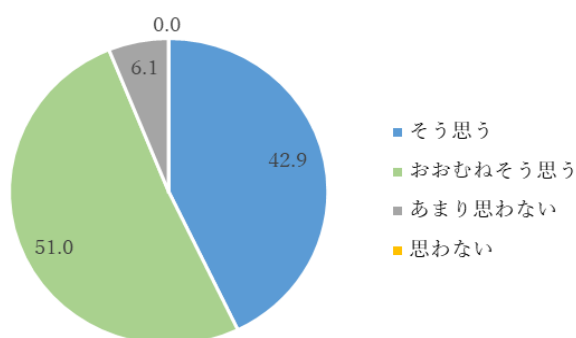
(3) 生徒指導

生徒は、学校生活をとおして、人を思いやる気持ちや決まりを守ろうとする態度が育っていると感じますか。

【主なご意見】

- ・いつまでも大切なことですので、自然に身に付いてきて良いと思います。
- ・もともと自己中心的なのでなかなか難しいと思っていましたが、少しは思いやりをもつことができるようになったと思います。

(3) 生徒指導

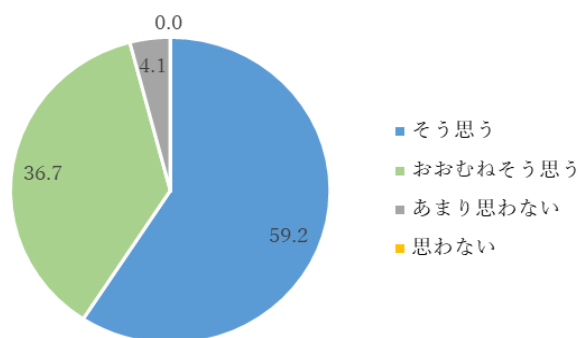


(4) 安心・安全な学校づくり
学校は、学習環境を整え、生徒にとって安心・安全な学校づくりに努めていると感じますか。

【主なご意見】

- ・生徒に対していつも気を使ってもらっている。
- ・とても整っていると思います。
- ・教室と廊下に寒暖差が激しいのが気になりました。

(4) 安心・安全な学校づくり

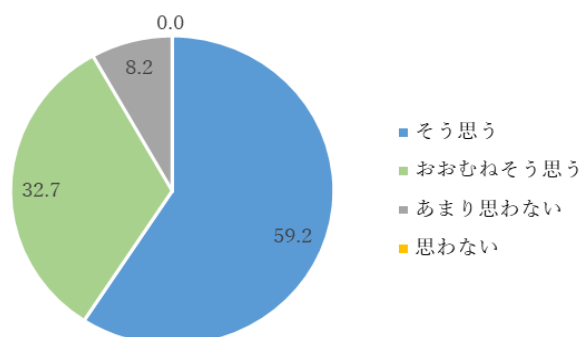


(5) 専門性の向上
学校は、生徒に必要な配慮を行うとともに、一人一人の特性を生かした授業づくりに取り組んでいると思いますか。

【主なご意見】

- ・いろいろな子どもたちがいる中で、学校全体でサポートしている様子がとても感じられます。
- ・この学年は生徒の数が多かったので先生方は大変だったと思いますが、子どもが3年間一度も嫌がらずに登校できたのは、先生方の配慮のおかげだと思っています。

(5) 専門性の向上

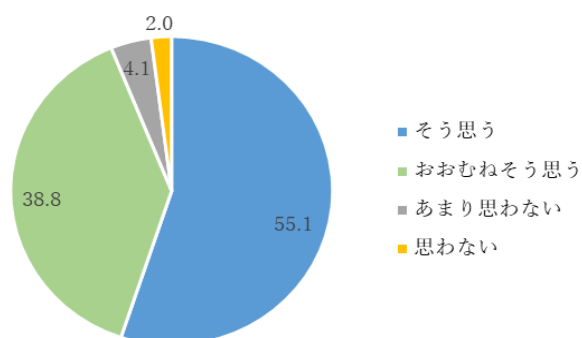


(6) 関係機関との連携
学校は、家庭や地域に向けて学校の取組や生徒の様子を発信し、家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていると感じますか。

【主なご意見】

- ・現場実習において、交通機関等に生徒への気配り等を依頼してもらっている。
- ・とても良くしていただき、皆で共に良い方向で過ごせるようにしていきたいです。

(6) 関係機関との連携



(7) その他（お気付きの点など）

【主なご意見】

- ・生徒の個性や苦手なところ、得意なところを見極めていただき、指導していただいたと思います。校外学習、修学旅行等で社会勉強をさせていただきました。体育で体力維持もさせていただきました。こちらの学校で貴重な体験もさせていただき、息子にとっては良かったと思います。3年間ありがとうございました。
- ・いつもあたたかく生徒一人一人に寄り添い適切な指導をして頂いていると感じます。ありがとうございます。
- ・本当に子どもの成長を実感でき、感謝でいっぱいです。これからも温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。